

令和7年度 学校評価表(当初)

校訓：「創造」

学校教育目標：「自律と貢献」～本気・感動・探究・継続～

育成する資質・能力：「主体性」「表現力」「協働性」

○ミッション 「自己実現」と「社会に貢献」する生徒を育成する

○ビジョン

①自己存在感の感受・・・全ての生徒はかけがえない存在で、生徒が大切にされている実感を持つようにする

②共感的な人間関係の育成・・・相手の立場に立って行動する、共感的な人間関係を学級内に築く

③自己決定の場の提供・・・自ら考え、選択、決定、行動する等の経験を意図的に設定する

④安全・安心な風土の醸成・・・お互いを認め合い、安心して授業や学校生活を送れる風土づくりをする

○重点項目

「学習指導」と「生徒指導」の一体化
～生徒指導の4つの視点での土台づくりを通して～

「わかった」「できた」「つながった」と納得できる学習指導！（生徒が輝く「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり）
学び合う集団づくりと、誰一人取り残されない学びの保障を！（不登校の未然防止、早期発見と組織対応）

【達成率(100%;S , 100%未満90%以上;A , 90%未満80%以上;B , 80%未満50%以上;C , 50%未満;D)】

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	目標値	中間達成値	最終達成値	分析	今後の改善策
確かな学力と学びに向かう意欲	主体的・対話的で深い学びを創造し、カリキュラム全体で生徒を「認める・探る・繋ぐ」でチーム支援を行う	基礎的な学力と主体性の向上	①主体的・対話的で深い学びを実現させるための、生徒指導実践上の4つの視点を取り入れた授業研究を1人年1回以上実施する。(全教科)	① ・1人1回の校内授業研究の実施 ・生徒アンケート「授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」「授業では、自分で考えたり、自分の意見をもったりしています。」「授業で学んだことを家庭で復習したり、次の授業の予習をしたりしています。」	① ・実施率100% ・各項目肯定的評価80%以上				
		「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化	②各種学力調査結果を基にした授業改善	② ・生徒アンケート「授業はよくわかります」 ・全国学力学習状況調査平均値 ・三次市学力到達度検査平均値	② ・生徒アンケート：全教科・年肯定的評価80%以上 ・全国学力学習状況調査：全国平均以上 ・三次市学力到達度検査：全国平均1.0p以上				
豊かな心とコミュニケーション能力の育成		生徒指導上の諸問題の未然防止と初期対応	③授業や家庭学習等でタブレットを活用する場の設定	③生徒アンケート「自分なりの学習方法の一つとしてタブレットを選択し、自分の課題に合うようにタブレットを活用することができている」	③各項目肯定的評価80%以上				
			④協働的な学習の場面で、タブレットを活用しての意見交流による相互思考の深化	④ ・生徒アンケート「グループで活動するときにタブレットを使うことは、友達と協力して学習を進めることに役立っている」 ・教職員アンケート「『複数の生徒の考えを共有できる』といった協働学習の場面や、『一人ひとりに合わせた学びを展開できる』『自分で学習を調整することができる』などの個別最適化された学びにタブレットの活用効果が得られた」	④各項目肯定的評価80%以上				
			⑤振り返りの視点を与えたGIGA環境での記録	⑤GIGA環境での振り返りの実施	⑤実施率80%以上				
豊かな心		不登校（傾向）の生徒に対する効果的なアプローチ（組織的対応による未然防止と社会的な自立支援）	⑥生徒指導規程の周知徹底及び小中一貫した生徒指導規程に基づく組織的かつ迅速で丁寧な対応	⑥問題行動発生(解決)率	⑥生徒指導上の諸問題解決率100%				
		生徒会活動充実による自治の力	⑦生徒指導提要に基づく4つの視点を重点に置いた教育活動の推進	⑦i-check ・「あなたは、友だちから、がんばったね、すごいねと、ほめてもらったことがありますか。」 ・「あなたは物事を行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか」 ・「つらかった時、悔しかった時、友達から優しい言葉をかけてもらったことがありますか。」 ・「クラスの中で、誰かが困っているとき、みんなでその人を助けてあげよう、励ましてあげようとする雰囲気があるあなたのクラスにありますか」	⑦各項目肯定的評価80%以上				
信頼される学校	保護者や地域の皆様から信頼される学校の創造	校区のコミュニティースクールの推進	⑧不登校等児童生徒支援コーディネーターを中心とした、不登校の未然防止と効果的な初期対応及び継続指導 ・総合質問紙調査の実施（年2回） ・生活アンケート及び全校面談の実施（年2回） ・不登校未然防止委員会の定期開催（年6回以上） ・関係機関連携（教育・福祉両面）	⑧不登校傾向生徒の減少 ・生徒アンケート 「自分には良いところがあります。」 「自分のよさは周りの人から認められていと思います。」	⑧ ・不登校生徒数 前年度比20%削減 ・各項目肯定的評価80%以上				
		学校・家庭・地域との繋がりへの深化	⑨生徒会自治活動の充実と活性化	⑨新たな不登校生徒数の減少	⑨実施率100%				
		校区のコミュニティースクールの推進	⑩「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進	⑩学校運営協議会の実施，地域学校協働活動の実施	⑩実施率100%				
			⑪各種通信やHP等による定期的な情報発信	⑪保護者アンケート	⑪各項目肯定的評価90%以上				
			⑫授業，行事等による学校公開の実施	⑫保護者アンケート（学校満足度）	⑫各項目肯定的評価90%以上				